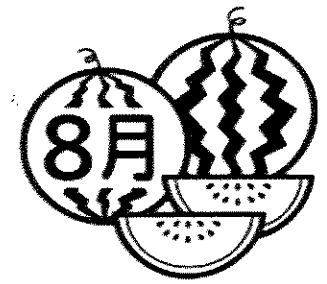


2026年 矢向あけぼの保育園だより



厳しい暑さが続いています。年々暑さが酷くなり、35℃以上の猛暑日が増えプールが中止になる事が増えてきました。普通に過ごせなくなっていく状況はどこまでいくのか、いろいろな事を考えさせられますね。ちなみに、35℃以上でハンディファンだけ使用すると熱い空気をあてるだけなので、熱中症のリスクが上がるようです。首元に濡れたタオルや、アイスリングと一緒に使用した方がよいそうです。最近、冷却がついているハンディファンも販売されているので上手に使用していきましょう。

戦後81年たったけど、世界は？

8月は、広島・長崎の平和記念式典や終戦記念日があり、平和について考えていきたいと、園だよりにかかせていただいています。

日本は、「二度と戦争はしてはならない」と平和な国を築きあげてきました。戦争後81年という歳月が流れるなかで、体験者や戦争の悲惨さを語れる方が少なくなり、遠い世界の話のようになっていきかねません。世界の情勢も、武力をもって戦争を止めることはできていません。ロシアとウクライナの戦争は、2022年から始まり各国が様々な介入をしましたが、今も出口の見えない戦争が続いています。中東のイランとイスラエルの紛争も「停戦」と出たものの、砲撃の応酬は続いていて今も不安定な情勢になっています。

この、二つの戦争は日本と遠い所の問題のように思ってしまうがちですが、経済的に大きくかかわっています。最近の原油価格高騰やナフサ不足は、戦争によるホルムズ海峡問題からきています。ロシアとウクライナでは、ロシアが石油輸出国だったので、この時も原油価格の高騰がありました。

石油価格が上がると、トウモロコシから作られるエタノールへの需要が高く価格が上がります。そのトウモロコシ輸出国世界第4位がウクライナの為よけいに品薄がおこり物価が上がるのです。小麦粉にあたっては、ロシアとウクライナが大輸出国です。



日本は輸入にたより成り立っているのです、止まらない物価高騰と世界でおこっている戦争と関連が深いといえます。

二つの戦争から、暴力に頼った解決は難しいのだと思わされます。先人たちが、次の世代には戦争での悲惨な思いをさせたくないと思いついてきた努力に感謝し、これから先も子どもたちと一緒に安心して生きられる社会をつくっていくために、何をしていかなければいけないのかを考えていきたいと思えます。

令和8年熊本地震の災害支援の募金のお願い

7月28日に熊本で大きな地震がおき、建物の倒壊や断水などで復旧の見通しがたっていない地域があるなど、厳しい暑さの中多くの方々が、先の見えない不安な日々を過ごされています。

先日、矢向あけぼのが加盟する一般社団法人・横浜市私立保育園こども園園長会で、八千代市の園長会、熊本県の園長会と繋がり状況報告が入りました。八千代市では、今も断水が続き園の再開所のめどがたっていないとのことです。復興となると小さいお子さんを抱えては大変なので、何とかお預かりしたいそうですが、トイレなどの衛生的な問題など、物資の不足があるそうです。なかなか、義援金だけですと自治体采配になるので欲しいものがすぐに手に入るわけではないとのことです。今回は、団体同士で繋がり本当に欲しいものを、届ける事になりました。その支援のための募金のご協力をお願いいたします。（詳しい事は、別でお知らせします。）

園長 飯田 雅美